

RPPC メールマガジン 第 890 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 9 月 22 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾局、第 2 回基地港湾検討会要旨を公表。隣接岸壁や海底地耐で意見

国土交通省港湾局は 8 月 5 日に開催した第 2 回「2050 年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方に関する検討会」の議事要旨を公表した。同日の検討会では港湾局が基地港湾の最適な規模と地域振興への検討に関して一定の方向性を示したのに対して、委員からは興味深い意見がいくつか提出されている。

挙げられた意見では、基地港湾に隣接する岸壁利用が高効率として推奨されたことについて、利用できる隣接岸壁としての一定の条件明記が必要だとする声があった。さらに港湾の地耐力を荷重分散して「2分の1、4分の1とする」といった記述に対しては、具体的な方法を書き加える必要があると提言。また隣接岸壁を新機材搬入岸壁として利用する場合の新規整備について、範囲の基準をわかりやすく整理できると良いなどと進言した。

また今後、10MW機、15MW機、20MW機の3つを検討対象とすることに対して、20MW機の検討は時期尚早とする意見も出されている。現時点では認証取得の可否についても不明であり、トランジションピースなしで基礎とタワーを接合する方法など、将来的な技術展望を優先して議論すべきとする。これについて事務局では欧州の商談などでは 20MW機も話題に上ると聞いており、さらに低風速の日本ではブレード長の長い風車は適すると考えられ、いずれにせよ風車の大型化は避けられないと明言した。

2. 港湾局、第 2 回 CNP 検討会概要を公表。燃料ハブ構想や協議会など

国土交通省港湾局はこのほど、8 月 3 日に開催した第 2 回「カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた検討会」の議事概要を公表した。第 2 回では事務局が提出した中間とりまとめの案と策定マニュアルの草案について議論を展開してお

り、さまざまな意見交換の中、既に最終マニュアルの作成を見越しての検討も展開されたことが概要からはうかがえる。同局では第2回検討会の後、先月末にこの2つを中間報告として公表した。

最終的なまとめへの布石として、委員からは中間とりまとめに次の3つを記載することが提案された。①CNPで想定されるステークホルダーとそれぞれの果たすべき役割、②効果等を検証するための評価項目、③形成計画における将来の不確実性の取り扱い方が内容。

また中間とりまとめで設置を推奨する港湾での協議会に関して、国との関係をもっと明確にすべきという見解も表された。国と協議会の関連に関して、たとえばハブ港の設定についても国主導か、あるいは民間の提案を基に決めるのか、いずれかの参考にするためにも、何らかの形で触れておくべきと意見した。

船舶への陸電供給については、2022年度の予算や制度で適切措置を講じてほしいという要望も上がった。技術的には既に実現段階にあり、機器や車両の置き換えへの適切な支援も含めた実効性に富んだ施策を望む、とした。

3.中国地整、境港外港昭和南地区で新バース念頭に土質調査

中国地方整備局境港湾・空港整備事務所は、境港外港昭和南地区で土質調査2件の手続きに入っている。外港昭和南地区は、本年6月に承認された港湾改訂計画でコンテナ対応の水深12m岸壁延長230mが位置付けられており、その設計のための土質調査。

境港では、新規バイオマス燃料の取り扱いや金属くずの大型船による複数港連携での遠隔地への輸出に対応するとともに、コンテナの取り扱いを効率化させるため、外港昭和南地区の先端部で新規岸壁水深12m1バースを整備するとともに、隣接バースを対象にする埠頭再編計画などを進めることになっている。

ふ頭の新たな取り扱い機能としては、水深10m岸壁でパーム油船、水深13m岸壁でペレット船、PKS船、金属くず船などの利用などを予定している。また水深10m岸壁は耐震強化岸壁とし、大型船による緊急物資輸送機能を持たす。

※港湾空港タイムス9月13日号から編集

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「***.dat」と

なったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////